

事業者向け 放課後等デイサービス・児童発達支援評価表

リハビリ発達支援ルームUTキッズ広陵

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数は適切であるか	○			配置基準の職員配置を行っています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			安全確保のため、自動ドアを手動での開閉に切り替えています。出入りの際に介助等必要な方がおられましたらお声がけください。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			PDCA 研修を行っています。 職員ミーティングでは PDCA サイクル法を活用し、問題解決や業務改善を行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者の意向を把握し改善できるところは早急に対応できるよう努めています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者による外部評価は現在実施しておりません。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			内部勉強会、外部研修への参加を積極的に行っています。
適切な支援の	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者からの聞き取りと、療育時の能力評価、必要であれば検査等を組み合わせてアセスメントを実施しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			事業所で標準化されたアセスメントシートを使用しています。

提供	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			療育会議、事例検討会等話し合いの場を設けています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			同上
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		個別療育を提供しているため常時、特別支援計画書に基づき課題を設定しています。休日等には、普段できない活動をイベントとして取り入れることがあります。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			今までは、個別療育を中心に実施していました。今後は必要に応じて集団療育も実施します。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝朝礼を実施し、伝達事項の確認をしています。また、支援開始前に職員間での情報交換、共有を実施しています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		支援終了時には、毎回記録を正確に入力することで情報伝達につなげています。また、特記事項については口頭でも伝達をしています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			療育終了後に、その日の様子を記入し、支援の検証・改善に繋がっています。

関係機関や保護	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6か月に一度程度、保護者の方にモニタリングを行い、個別支援計画書・特別支援計画書の見直しを行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか		○		自立支援、日常生活活動の充実に向けた支援が中心となっていますが、必要に応じて、創作活動や交流を図る活動も取り入れています。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			サービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者や管理者、療育現場で担当している職員が参画しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル	○			送迎は行っていないため、下校時刻の確認等はしていません。電話連絡、見学の

者との連携関係機関や保護者との連携		ル発生時の連絡)を適切に行っているか				受け入れ、保育所等訪問支援を通して学校との情報共有を行っています。
	②②	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	医療的措置の必要な子どものご利用は現在ありません。居宅訪問型児童発達支援のご利用開始時には連絡体制の整備に努めます。
	②③	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			多機能型の事業所であり、児童発達支援事業から継続で利用される場合が多いため、情報を引き継ぐことができています。
	②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		現在、小学生以下の利用が多く障害福祉サービス事業所への引継ぎはまだありません。今後そのような状況になれば情報提供を行います。
	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		行政や外部の研修には積極的に参加を促しています。
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	地域の子どもの交流や活動は現在実施できていませんが、弊社を卒業して地域の習い事や活動へ繋げていくために、保護者への情報提供等を行えるように情報収集を行っています。
	②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		中和圏域3市1町の自立支援協議会の全体会議には何度か参加させていただいています。今後も機会があれば積極的に参加していきます。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			毎回療育後に、保護者とお話をする時間を設けています。また計画書作成時には面談等を実施しています。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		ペアレントトレーニングという形では行えていませんが、療育後の振り返り時ご自宅でできる工夫などをお伝えできるように努めています。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用契約前に重要事項説明書・利用契約書を使い、支援内容、利用者負担等について伝えています。また、いつでも閲覧できるように提示しています。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			毎回療育後にお話をさせていただく際に、相談に応じるときもあります。また、ご希望があれば事業所内相談として承っております。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			保護者勉強会を計画実施し、茶話会を通して保護者同士のつながりの場を提供しています。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情等のご意見をいただいた際は、なるべく迅速に対応するように努めています。事業所単位での対応が難しい場合は、安全管理委員会で対応させていただいています。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			定期的にホームページのブログ等で活動概要、行事のお知らせをしています。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報の含まれる紙媒体は、鍵付きの棚に保存し、破棄をする際にはシュレッダー処理をしています。また、個人情報の含まれたデータに関しては社内でのみ使用できないサーバーに保存し、USBメモリ等で取り出しができないように設定しています。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			個々の能力や特性、特異な情報処理に応じた情報の伝え方ができるよう、社員教育に努めています。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		年に1回、地域の方も参加できるイベントを行っています。
非常時	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			緊急時対応マニュアル・防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを使い研修を行っています。また、避難訓練実施後は

等 の 対 応					報告書を作成し保護者室に掲示しています。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年に２回 火災、地震、防犯訓練を行っています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		県主催の虐待防止研修に参加し、定期的に事業所内研修会を行っています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		身体拘束のルールを決定し、事業所内ミーティングで確認、保護者に説明し了解を得た上で療育を実施しています。また、朝礼で身体拘束の有無を確認し職員で話し合いの場を設けています。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	基本的には食事等を提供することはありません。イベント等で食べ物を使用する際には毎回保護者より聞き取りを行っています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットが発生した場合は、報告書を作成後職員間で共有し、未然に防ぐ努力をしています。